

PCG040-P17

会場:コンベンションホール

時間: 5月27日17:15-18:45

## 小型衛星初号機 惑星観測用極端紫外光分光器の開発現状

### Current Status of the EXCEED mission

吉川 一郎<sup>1\*</sup>

Ichiro Yoshikawa<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>東京大学

<sup>1</sup>The University of Tokyo

惑星の大気プラズマが発する極端紫外光(60-145nm)を、地球の周回軌道から観測する飛翔体計画を進めている。この計画はEXCEED衛星と名づけられ、2012年の打ち上げを目指し、準備中である。極端紫外光は地球の大気による吸収が大きいため、地球の大気圏の外から観測する必要がある。本発表では、ごく最近の開発の現状と科学目標について述べる

キーワード:惑星探査,極端紫外光,小型衛星

Keywords: Explore for planets, EUV, small satellite